

映像&トーク

1900年パリ万博から、 大阪・関西万博後の百年へ 上町台地を視点場に、 都市と博覧会の世紀をレビューする

■開催日時：2019年9月28日(土) 14:00~17:15頃 ※受付は13:30から

■会場：大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 2階ホール
(大阪市天王寺区清水谷町6-16)

■プログラム(予定)：

- 14:00~14:10 = 開会 ご挨拶/趣旨説明
- 14:10~14:45 = 第1幕 レビュー・ムービー&スライドショー 1900年~1948年 タイムトラベル
1900年パリ万博から、1903年第五回内国勧業博覧会、1925年大大阪博覧会、
1948年復興大博覧会まで、記録ムービーとスライドショーで追体験
構成：大阪ガスCEL/U-CoRoプロジェクト・ワーキング
- 14:45~15:30 = 第2幕 レビュー・トーク その1
「大大阪」へのグランドデザインと、都市戦略としての博覧会の過去を読み解く
講師：古川武志 (大阪市史料調査会 調査員)
- 15:40~17:15 = 第3幕 レビュー・トーク その2
2025年大阪・関西万博とその後の百年に向けて、都市と博覧会を再定義する
コメンテーター：山蔦栄太郎 (大阪大学 大学院工学研究科機械工学専攻 博士課程)
古川武志 (前掲)
その他ご来場のみなさま
モデレーター：池永寛明 (ナレッジキャピタル 大阪・関西万博会議~ワイガヤサロン~座長、大阪ガス エネルギー・文化研究所 顧問) (順不同、敬称略)

◎参加申込：参加者名・所属・連絡先を書いて、FAX.06-6205-3512 (CEL 弘本) へお申込みくださるか、
<https://www.sumai-machi-net.com/event/portal/event/33511>の申込フォームをご利用ください。

◎定員：50名程度 ※参加無料 ◎問合せ先：CEL 弘本 (電話06-6205-3518) まで

■主催：大阪ガスエネルギー・文化研究所 (CEL) 企画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング 協力：ナレッジキャピタル 大阪・関西万博会議~ワイガヤサロン~

「上町台地 今昔タイムズ」*
第12号では、「上町台地から見
はるかす 博覧会“百年の計”
で築いた大阪とは」をテーマに、
博覧会の百年と社会と都市の激
しい変遷の相関を、博物館・
図書館に所蔵されている貴重な
資料と、当時を知る方の証言、
大阪市史や人文地理学や都市
文化に精通した識者の鋭い読
み解きから、未来に向けて一
望する機会としました。

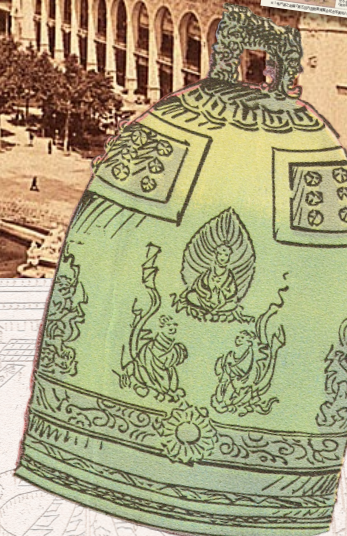
今回のフォーラムでは、過去
と未来の結節点・未来を揺籃
する場の役割を担い、世紀を駆
けて数多の博覧会が開催され
てきた大阪・上町台地を視点
場に、その軌跡から2025年開
催予定の大阪・関西万博とそ
の後の百年を見はるかす、再起
動すべきものは何なのか、都市
と博覧会の世紀のレビューに
チャレンジします。

映像資料を用いて、1900年
パリ万博の衝撃を追体験。都市
が舞台となる1903年第五回内
国勧業博覧会を経て、1925年
の「大大阪」へ。そして激しい戦
災と復興。都市戦略としての博
覧会の過去を読み解き、2025
年からその後の100年へ、都市
と博覧会を再定義する未来へ
とつなぐ、映像とトークで、新
たな眺望と知を共有する場と
します。

*「上町台地 今昔タイムズ」のバックナ
ンバーや、プロジェクトの歩みは、ホ
ムページ「大阪ガスCEL」「U-CoRo」
で検索してご覧いただけます。



1900年第五回パリ万博「Cafes du Guatemala」(国立国会図書館デジタルライブラリー)、大観覧車のカラージュ



今はなき「四天王寺大釣鐘」は、「聖徳太子千三百年御聖忌」に向け鑄造された世界最大級の釣鐘。1903年の第五回内国勧業博覧会で初披露された(「第五回内国勧業博覧会全景詳細図」の部分)

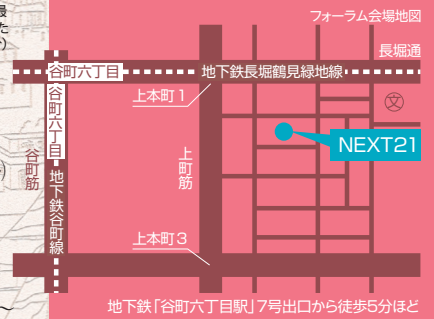


◆出演者プロフィール

古川武志 (ふるかわ・たけし)
専門は近現代史。大阪の近代史料の調査を実施し、特に大阪の大衆文化に詳しい。共書に「モダン道頓堀探検」、論文に「洋楽の展開と道頓堀ジャズ」、「戎橋筋商店街百周年一画像に見る戎橋、戎橋筋」など。

山蔦栄太郎 (やまつた・えいたろう)
日本学術振興会特別研究員DC1。生命機械融合領域での機械工学分野のバイオ応用研究を行う。ヘルスケアスタートアップ Remohabの立ち上げをサポート。盲ろう者のためのIoTデバイスゆびとん開発に携わる。

池永寛明 (いけなが・ひろあき)
過去と現在、内と外をつなぎ、都市・地域の本質(コード)をさぐりだし、方法論(モード)を導きだし、これからの日本のあり方を考え実践していくルネッセ(再起動)を展開。共著に「上方生活文化堂」ほか。



地下鉄「谷町六丁目」7号出口から徒歩5分ほど